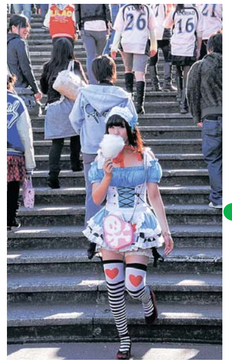
創立129年 鳳祭

10月11・12の両日、神田鳳祭2008が「一期一会 Greatest Moment2008」をテーマに、10月30日～11月2日の4日間、創立129年鳳祭が「輝緑（きりょく）～新たな芽生え～」をテーマに開かれた。



鳳祭で好評販売

「大豆栽培から作るオンリーワン納豆」

課題解決型インターンシップ

キャリアデザインセンターの課題解決型インターンシップの一つ、納豆メーカー（株）カジノヤ（川崎市麻生区）の「大豆栽培から作るオンリーワン納豆」プログラムが、鳳祭で集大成を迎えた。

【参加ゼミは、新井範子ゼミ（経営）、池本正純ゼミ（経営）、石川和男ゼミ（商）】

5月の堆肥撒きからはじめ、神奈川県在来品種の津久井大豆を無農薬栽培（本紙7月号既報）し、収穫も自分たちの手で行った。パッケージは7月のプレゼンテーションの結果、石川ゼミの落ち着いた高級感のあるデザインが採用され、「専修大学共同開発」の表示もある。

3ゼミ共同でブースを出店した鳳祭では、412セット（1セット3パック入り）を売り上げた。購入者からの反応も上々で、キャリアデザインセンターには好評のメールが寄せられている。今後は店頭販売も予定している。

▲ 新井ゼミのプレゼンテーション

29道県のお国自慢の味 連合県人会のチロリン村

●ホームカミングデー 2008●

―― マスコット「センディ」が大活躍 ――

▲ テープカットで（左から日南川裕一育友会長、三島英雄副理事長、甘竹秀雄校友会長、日髙義博理事長・学長、荒木敏夫副学長）

▲ 講演する志茂田景樹氏

▲ 谷口筆敏氏（昭46法）の講演「私の事業活動と専修大学」

▲「古代からのメッセージ」土生田純之文学部教授の講演

◀人気を博した立川談修さん（左）と桂小文治さん

◀スポーツパネル展

▶専修大学創立者展

鳳祭開催期間中の11月2日、創立130年事業の一環として「ホームカミングデー2008」が生田キャンパスで行われ、500人の卒業生たちが母校を訪れた。

全学応援団チアリーダー部「BLASTS」がオープニングセレモニーに花を添え、日髙義博理事長・学長、荒木敏夫副学長、甘竹秀雄校友会長らと共に大学マスコット「センディ」がテープカットを行った。今回が初登場となる着ぐるみの「センディ」はキャンパスの各所で記念撮影に応じ、注目を集めた。

卒業生たちは、専修大学からの「知の発信」展、卒業アルバムなどを展示した特別招待卒業年次展、専修大学創立者展、スポーツパネル展などを熱心に見学。育友会創立50周年企画・『蒼翼の獅子たち』を執筆した直木賞作家・志茂田景樹氏の講演や、OBの落語家・桂小文治さん（昭55商）、立川談修さん（平7法）が登場した「おおとり名人会」が人気を博した。

歓迎セレモニー・交流会は、全学応援団の力強いリードで校歌斉唱からスタート。NHK横浜放送局の日髙治子さん（平11経営）の司会でなごやかに進行し、卒業生たちは校舎が増え、大きく変貌した久しぶりの母校を満喫した。

同日行われた、向ケ丘遊園北口駅前「アトラスタワー向ケ丘遊園」2階に開設されたサテライトキャンパスの内覧会にも多くの参加があった。